



Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドイン

リリース情報



バージョン 3.2.0

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、7 ページの付録 A「特記事項」に記載されている情報をお読みください。

第 11 版 (2017 年 9 月)

© Copyright Lenovo 2014, 2017 年.
Portions © Copyright IBM Corporation 2014

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

本書について	iii	付録 A. 特記事項	7
規則および用語	iii	商標	8
Web リソース	iv	重要事項	8
第 1 章. バージョン 3.2.0 の新機能 . .	1		
第 2 章. 既知の制限、問題、および回避策	3		

本書について

リリース・ノートは、Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインバージョン v3.2.0 の新機能の概要および製品の既知の制限と回避策に関する重要情報を説明します。

Lenovo アドインのインストールと使用については、「*Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインは、Lenovo System x サーバーおよび Flex System サーバーを管理し、ハードウェア・インフラストラクチャーと仮想インフラストラクチャーを接続する付加価値機能を提供することを目的とした、Microsoft System Center Virtual Machine Manager のプラグイン・アプリケーションです。

規則および用語

太字の「注」、「重要」、または「注意」で始まっているパラグラフは、重要な情報を強調する特定の意味を持つ注意書きです。

注：これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。

重要：これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。

注意：これらの特記事項は、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる損傷を示します。損傷が起これうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

本書で使用されている用語、頭字語、および省略語のいくつかについて、下の表で説明します。

表 1. 本書で使用される用語の定義

用語、頭字語、または略語	定義
ベースボード管理コントローラー (BMC)	サービス・プロセッサ機能とビデオ・コントローラーを1つのチップに統合したサービス・プロセッサ。
Lenovo XClarity Administrator	Flex System とスタンドアロン・ラックの両方の x86 ノードを管理する単一のエレメント・マネージャーを提供します。
Lenovo XClarity Integrator (LXCI)	IT 管理者が System x と Microsoft System Center の管理機能を統合して使用できるツール・スイート。Lenovo は、Lenovo のハードウェア管理機能を統合し、定型的なシステム管理に要する時間と労力を削減するための、物理環境および仮想環境の基本的な管理機能を手頃な価格で提供することによって、Microsoft System Center のサーバー管理機能を拡張します。これにより、サーバーの統合および管理の簡素化を通じてコストの削減と複雑さの解消を実現するために必要な、検出、構成、モニタリング、イベント管理、および電源管理機能が提供されます。
管理ノード	SCVMM サービス、Lenovo XClarity Integrator Unified Service および Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインがインストールされ、実行されている物理または仮想マシン
管理対象ノード	SCVMM がインストールおよび実行され、SCVMM で管理されている物理マシン
PFA	障害予知アラート
SCVMM	Microsoft System Center Virtual Machine Manager

表 1. 本書で使用される用語の定義 (続き)

用語、頭字語、または略語	定義
UXSP	UpdateXpress System Pack
	Lenovo UpdateXpress System Pack Installer

Web リソース

以下の Web サイトでは、System x、Flex System、BladeCenter サーバー、およびシステム管理ツールの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが提供されています。

Microsoft Systems Management Solutions for Lenovo Servers の Lenovo Web サイト

Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドイン用の最新のダウンロードがあります。

- Microsoft System Center 対応 Lenovo XClarity Integrator Web サイト

Lenovo XClarity ソリューションを使用したシステム管理

この Web サイトでは、Lenovo XClarity ソリューションの概要について説明します。このソリューションは、System x および Flex System ハードウェアに統合され、システム管理機能を提供します。

- Lenovo XClarity ソリューションを使用したシステム管理についての Web サイト

Lenovo テクニカル・サポート・ポータル

この Web サイトは、ハードウェアおよびソフトウェアのサポートを見つける役に立ちます。

- Lenovo Support Portal Web サイト

Lenovo ServerProven ページ

Lenovo System x、BladeCenter、および IBM IntelliStation ハードウェアとのハードウェア互換性に関する情報を入手します。

- Lenovo ServerProven: BladeCenter 製品の互換性
- Lenovo ServerProven: Flex System シャーシの互換性
- Lenovo ServerProven: System x ハードウェア、アプリケーション、およびミドルウェアの互換性

Microsoft System Center Web サイト

この Web サイトは、Microsoft System Center 製品の検索に役立ちます。

- Microsoft System Center Web サイト

第 1 章 バージョン 3.2.0 の新機能

このセクションでは、Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドイン v3.2.0 で新しく加わった機能の概要について説明しています。

新規のハードウェア・サポート

以下のハードウェアがサポートされています。

- ThinkSystem SR950 タイプ 7X11 および 7X12
- ThinkSystem ST558 タイプ 7X15 および 7X16 (中国のみ)

SQL サーバー・サポート

SQL データベース・サーバーのサポートが追加されました。データを PostgreSQL から SQL サーバーに移行することもできます。

Unified Service の構成

「Lenovo XClarity Integrator Administration (Lenovo XClarity Integrator 管理)」ページに Unified Service の構成が追加されました。

第 2 章 既知の制限、問題、および回避策

Lenovo アドインには以下の制限、問題、および回避策が該当します。

- SCVMM アドインが、DHCPv6 または静的に割り当てられた IPv6 アドレスを使用するサーバーでポリシーありのファームウェア更新をサポートしない。
- SCVMM アドインが、X3250 M6 で IMM 認証および PFA 管理機能をサポートしない。
- IMM2 (プライマリー) と IMM2 (バックアップ) の現行バージョンが逆転することがある。
ローリング・システム更新タスクの作成時に、IMM2 (プライマリー) と IMM2 (バックアップ) の現行バージョンが逆転することがあります。
- ポリシーなしのファームウェア更新を使用して Intel X550 2x10GBase-T アダプターを更新できない。
- Unified Service にログインできない

プロキシ・サーバーを使用している場合は、次のステップを 1 つまたは複数実行します。

注：プロキシ・サーバーが使用されているかどうか判別するには、「Internet Options (インターネット・オプション)」 → 「Connections (接続)」 → 「LAN settings (LAN 設定)」をクリックし、「Proxy server (プロキシ・サーバー)」が有効になっているか確認します。

- プロキシにユーザー名およびパスワードが必要な場合は、Internet Explorer を使用して Web ページに移動します。ユーザー名とパスワードをダイアログに入力し、「Remember (保存する)」チェックボックスをチェックします。
- Unified Service が Lenovo アドインと同じホストにインストールされている場合は、「Internet Options (インターネット オプション)」で「Bypass proxy server for local addresses (ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない)」を選択します。
- プロキシは使用しません。
- Lenovo XClarity Integrator Unified Service サーバーへの接続に失敗した
Lenovo XClarity Integrator サービスを手動で再起動したか、Lenovo XClarity Integrator を再インストールまたはアップグレードした場合、Lenovo XClarity Integrator が Lenovo XClarity Integrator Unified Service サーバーを接続できなかったことを示す問題が発生することがあります。これは、古いサービスが正常に停止されていないことによる既知の問題です。
回避策: Lenovo XClarity Integrator に関連する Lenovo XClarity Integrator サービスと python プロセスを手動で停止し、Lenovo XClarity Integrator サービスをもう一度再起動します。
- データベース・クラスターへの SQL モジュールのロードに失敗しました
PostgreSQL データベースのインストール中、エラー・メッセージ「データベース・クラスターへの SQL モジュールのロードに失敗しました」が数秒間表示され、自動的に閉じます。
回避策: このエラーは無視しても構いません。インストールが完了すると、データベースは正常に動作します。
- Windows Server 2016 を実行する一部のサーバーが管理対象サーバーとしてサポートされていない
Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインでは、Windows Server 2016 を実行する以下のサーバーは管理対象サーバーとしてサポートされていません。
–
–
- Lenovo XClarity Administrator 登録
一部の Lenovo アドイン 機能は Lenovo XClarity Administrator に依存します。
以下の機能を使用する前に、すべての Lenovo XClarity Administrator インスタンスを Lenovo アドインに登録してください。

- シャーシ・マップ
- 構成パターン
- ファームウェアのコンプライアンス

● Virtual Machine Manager コンソール要件

Virtual Machine Manager コンソールは、Virtual Machine Manager サービスがインストールされているのと同じシステムからしか実行できません。

別のシステムから Virtual Machine Manager コンソールを実行しようとしても、Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインは正しく動作しません。

● Internet Explorer パッチ KB3087038

Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo アドインの一部の機能では、Microsoft Internet Explorer (IE) に IE KB3087038 以降の更新でパッチが当てられている必要があります。手順のステップを実行して Internet Explorer が互換性のあるバージョンであることを確認してください。

1. ご使用の Microsoft Internet Explorer のバージョンにパッチが必要かどうかを確認してください。
 - a. 「About Internet Explorer (バージョン情報)」ダイアログを開きます。

注：ダイアログを開く手順は Internet Explorer のバージョンによって異なる場合があります。

- b. バージョン番号を確認します。バージョン番号が 10.0.9200.17492 を下回っている場合は、Internet Explorer の更新 KB3087038 で Internet Explorer にパッチを当てる必要があります。値が 10.0.9200.17492 と等しいかそれ以上の場合は、パッチの必要はありません。
- c. Internet Explorer にパッチを当てる場合は、次のステップに進んでください。Internet Explorer にパッチを当てる必要がない場合は、ここで終了です。

2. KB3087038 パッチをダウンロードしてインストールします。

● インストールでの同一パスワードの使用

Lenovo アドインを再インストールまたはアップグレードした場合は、前回のインストールに使用したものと同一データベース/マスター・パスワードを使用します。

異なるパスワードを使用した場合、インストール・プロセスでデータベースのエラーが発生し、データベースに保管されている重要なユーザー・データが使用できなくなる場合があります。

● ローリング・システム更新の要件

ローリング・システム更新機能を使用する前に、このセクションの要件を満たしていることを確認してください。

以下を完了していることを確認してください。

- サーバーのホストをクラスターに配置し、そのサーバー・ホストのオペレーティング・システムが OS ユーザー名、OS パスワードおよび SCVMM Runas アカウントによって認証されていることを確認します。
- ローリング・システム更新設定を設定します。ローリング・システム更新設定の設定についての詳しい説明は、「*Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo XClarity Integrator アドイン ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

注：Lenovo アドインがインストールされているローカル・オペレーティング・システムのユーザー名とパスワードが設定されていることが特に重要です。

重要：SCVMM Runas アカウントを含むユーザー認証情報が必要な箇所ではすべてドメイン管理者ユーザー・アカウントを使用します。

注：Lenovo アドインで各管理対象サーバーをから情報を収集し、Lenovo Web サイトからデータおよび更新メタ・データを取り出すには、時間がかかります。この処理中は、ローリング・システム更新を使用したタスクの作成や編集が正しく機能しない場合があります。

● Lenovo アドイン ページ表示エラー

Lenovo アドイン ページは、時々表示に失敗したり、何も表示されないことがあります。

その場合は、次のようにして問題の解決を図ります。

- そのページに指示がある場合は、指示に従います
- ページの再ロード: ページを右クリックして、「Refresh (最新表示)」を選択します
- SCVMM コンソールを再起動します

● Lenovo XClarity Integrator Unified Service セッションが無効になった

コンソールを起動すると、Lenovo アドイン・コンソールはバックグラウンド・デーモン、Lenovo XClarity Integrator Unified Service にログインします。つまり、新しいセッションが作成されます。

セッションは、コンソールが開かれた状態であり、デーモンが中断せず稼働していれば、有効期限が切れることはありません。ただし、デーモンが何らかの方法、たとえば再起動などで中断されると、セッションは無効になります。

セッションが無効になった場合、次の症状が表れます。

- Lenovo アドイン の資産ツリー・ペインにルート・ノードしか表示されない、または資産の変更が資産ツリー・ペインに表示されない。
- 機能している UI ページが空白表示、またはデータが表示されるはずの場合にデータがない。

注：ログオン履歴を確認する方法については、「*Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo XClarity Integrator アドイン ユーザーズ・ガイド*」の「付録 B. Lenovo XClarity Integrator Unified Service セッションの確認」を参照してください。

問題を修正するには、以下の手順で SCVMM コンソールおよび Lenovo アドイン コンソールを再起動します。

1. SCVMM コンソール・ウィンドウで「Close (閉じる)」をクリックして現行の SCVMM コンソールを閉じます。
2. Windows デスクトップから、SCVMM コンソールのショートカットをダブルクリックして SCVMM コンソールのウィンドウを開きます。
3. 「*Microsoft System Center Virtual Machine Manager 対応 Lenovo XClarity Integrator アドイン ユーザーズ・ガイド*」の「Lenovo アドインの開始」セクションの指示に従って、Lenovo XClarity Integrator アドイン・コンソールを開きます。

● 資産ツリー・ビューから選択すると System x サーバーでは機能が使用できない

サーバーのマシン・タイプを判別できない場合、Lenovo XClarity Integrator アドインの資産ツリー・ビューから選択すると System x サーバーでは機能が使用できません。

サーバーのマシン・タイプを取得するには、以下のステップを1つ以上実行します。

- UUS サーバー・サービスを、ターゲットの Hyper-V システムに対する WMI 読み取り権限がある Windows/ドメイン・ログオンで実行します。Windows サービスのユーザー・アカウントを変更するには、Microsoft TechNet: サービスの開始方法を構成する Web ページを参照してください。
- ハイパーバイザー・ノードを、ターゲットの Hyper-V システムに対する WMI 読み取り権限がある Windows/ドメイン・ログオンで認証します。
- Lenovo XClarity Administrator でサーバーを管理し、Lenovo XClarity Administrator を Lenovo XClarity Integrator アドインに登録します。
- 特定のサーバーの IMM を検出します。

● IPv6 アドレスを使用すると Lenovo XClarity Administrator が登録されない

IPv6 アドレスを使用して Lenovo XClarity Administrator を登録すると、「Loading, Please wait ... (ロード中です。お待ちください...)」というメッセージが表示されますが、結果が戻りません。これは、Lenovo XClarity Integrator Unified Service が IPv6 アドレスから証明書チェーンを取得できなかったためです。この問題は、Lenovo XClarity Integrator の制限です。

問題を解決するには、手動で Lenovo XClarity Administrator からの証明書をダウンロードし、Lenovo XClarity Integrator に証明書を追加します。「**Manage trusted certificates (トラステッド証明書の管理)**」 → 「**Add (追加)**」をクリックしてください。

注：Think サーバーはローリング・リブートのみをサポートします。これは、Lenovo XClarity Integrator アドインの制限です。

- **ThinkServer サーバーがローリング・リブートしかサポートしない**

これは、Lenovo XClarity Integrator アドインの制限です。

- **Internet Explorer 10 を使用すると Lenovo XClarity Administrator 証明書をインポートしない**

Lenovo XClarity Integrator に手動で Lenovo XClarity Administrator 証明書 (PEM) ファイルをインポートすると、以下のメッセージが表示されて失敗する: **Fail to upload certificate file** (証明書ファイルのアップロードに失敗しました)これは、Internet Explorer 10 の既知の問題です。

この問題を回避するには、以下のいずれかの手順を実行してください。

- Internet Explorer をより新しいバージョンにアップグレードするか、別の Web ブラウザーを使用します。
- 証明書をインポートするときに、「**Paste certificate in PEM format** (PEM 形式の証明書を貼り付け)」を選択します。「**Add from a file (PEM)** (ファイル (PEM) から追加)」を使用して証明書を追加しないでください。

付録 A 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、および NeXtScale® System は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

Intel および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft グループの商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

Lenovo™